記者発表資料

令和７年１１月２６日
能代河川国道事務所

開　通　の　お　知　ら　せ

国道７号　能代（のしろ）地区線形改良は
令和７年１２月９日に開通します

〇能代地区線形改良（延長2.0km）については、道路の線形改良を行い、交通の安全性向上と円滑化を図るため、平成２７年度から事業を進めているところです。

〇この度、今後の工事を含めて工程を精査した結果、

『令和７年１２月９日（火）１４時』に開通しますのでお知らせします。

〇なお、今後開通に向けて交通規制等も行われますので、現地の標識や案内に従って、安全に通行願います。

＜今回の開通による整備効果＞

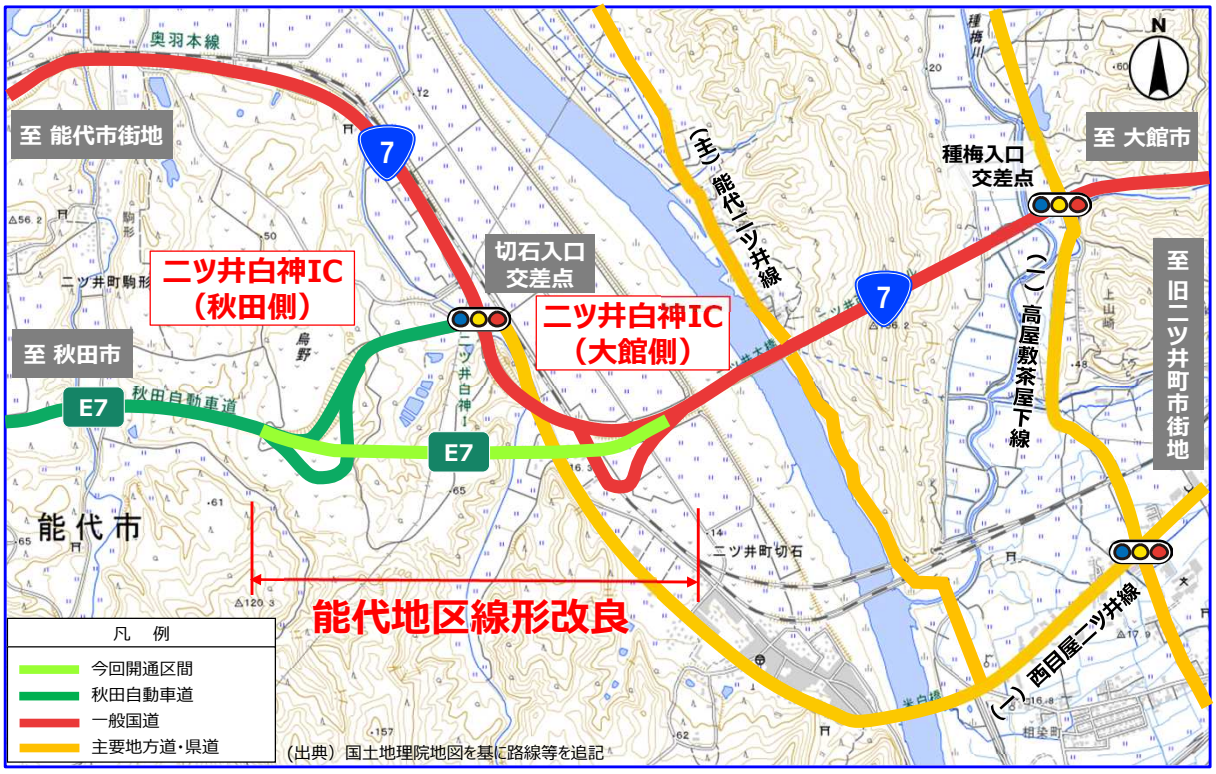
交通の転換による交差点やランプ部の事故削減

＜発表記者会：秋田県政記者会、能代市記者クラブ、北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ＞

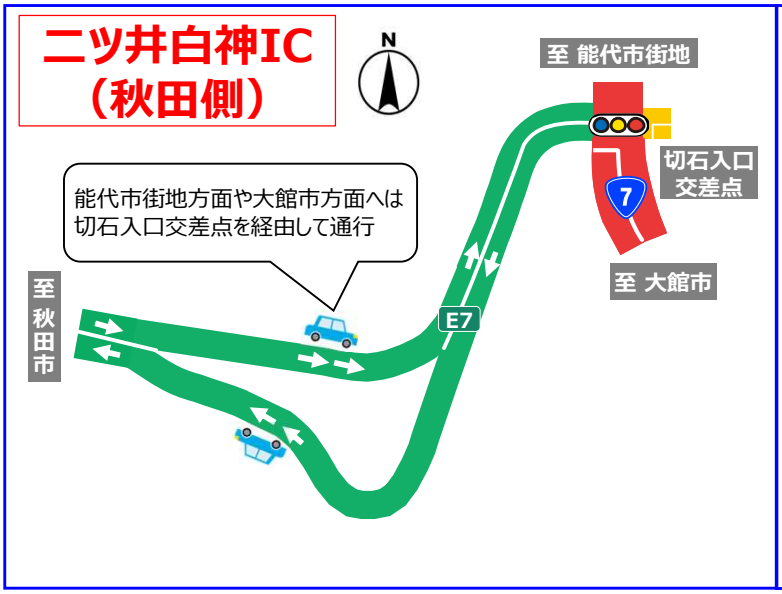
問　い　合　わ　せ　先
国土交通省　東北地方整備局　能代河川国道事務所 電話番号：０１８５－７０－１００１（代表） 副所長（道路担当）　大久保　広　（内線２０５）

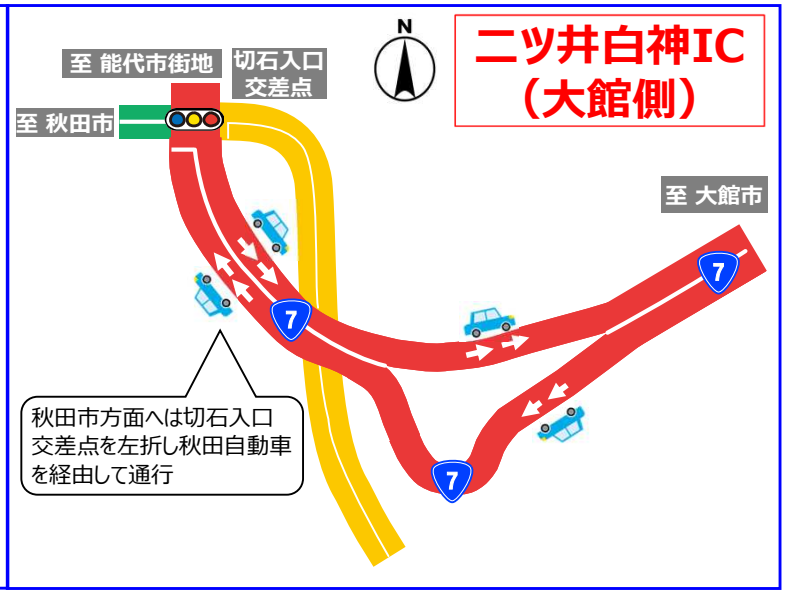
国道7号　能代地区線形改良＜工事進捗状況＞　（R7.10末撮影）

E7 「二ツ井白神IC（インターチェンジ）」の利用方法が変わります！

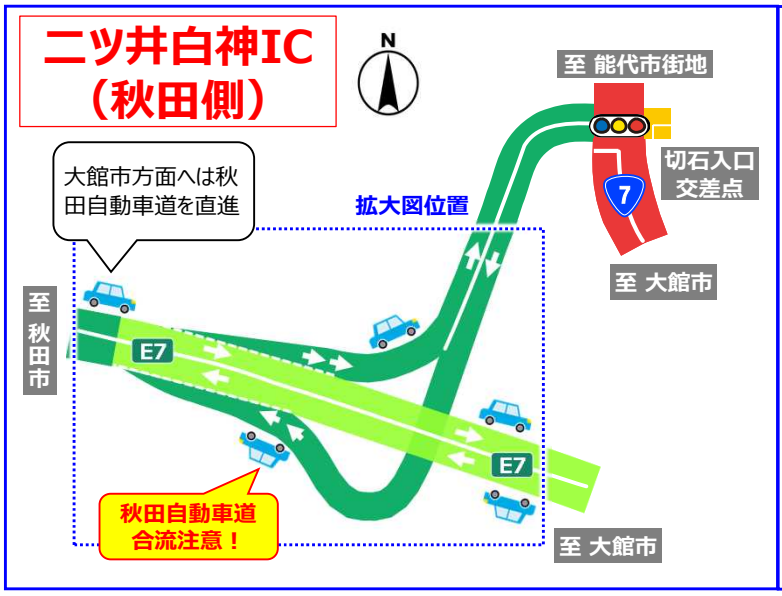


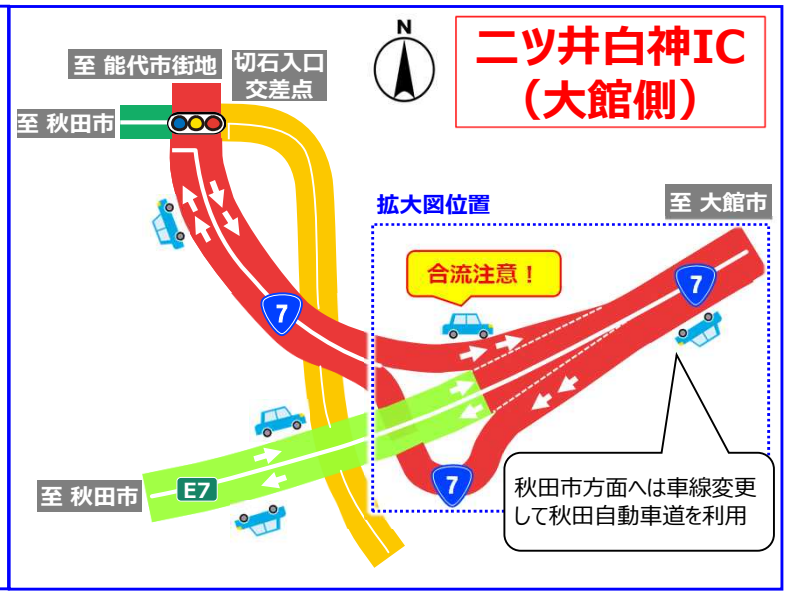
開通前の利用方法



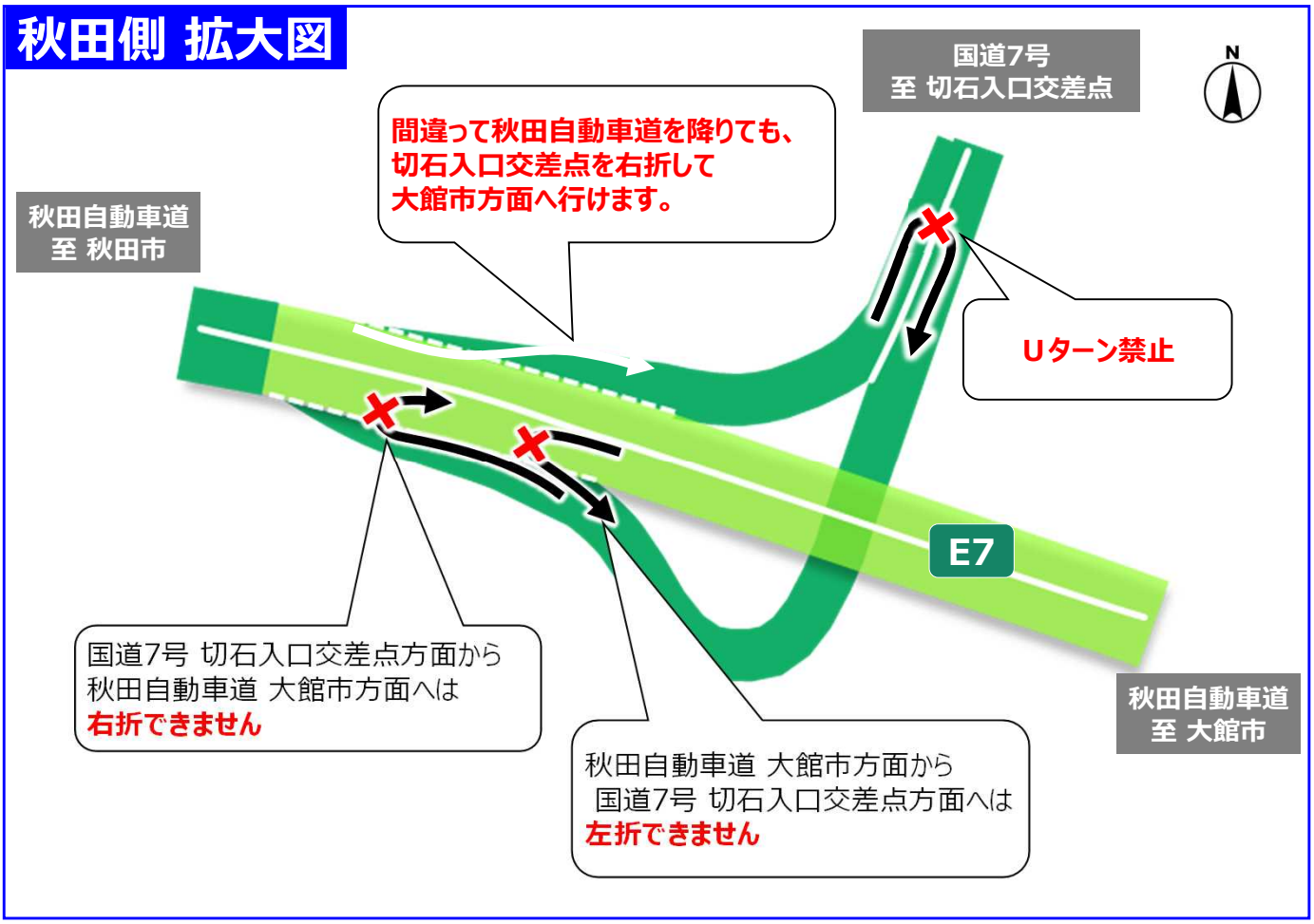


開通後の利用方法

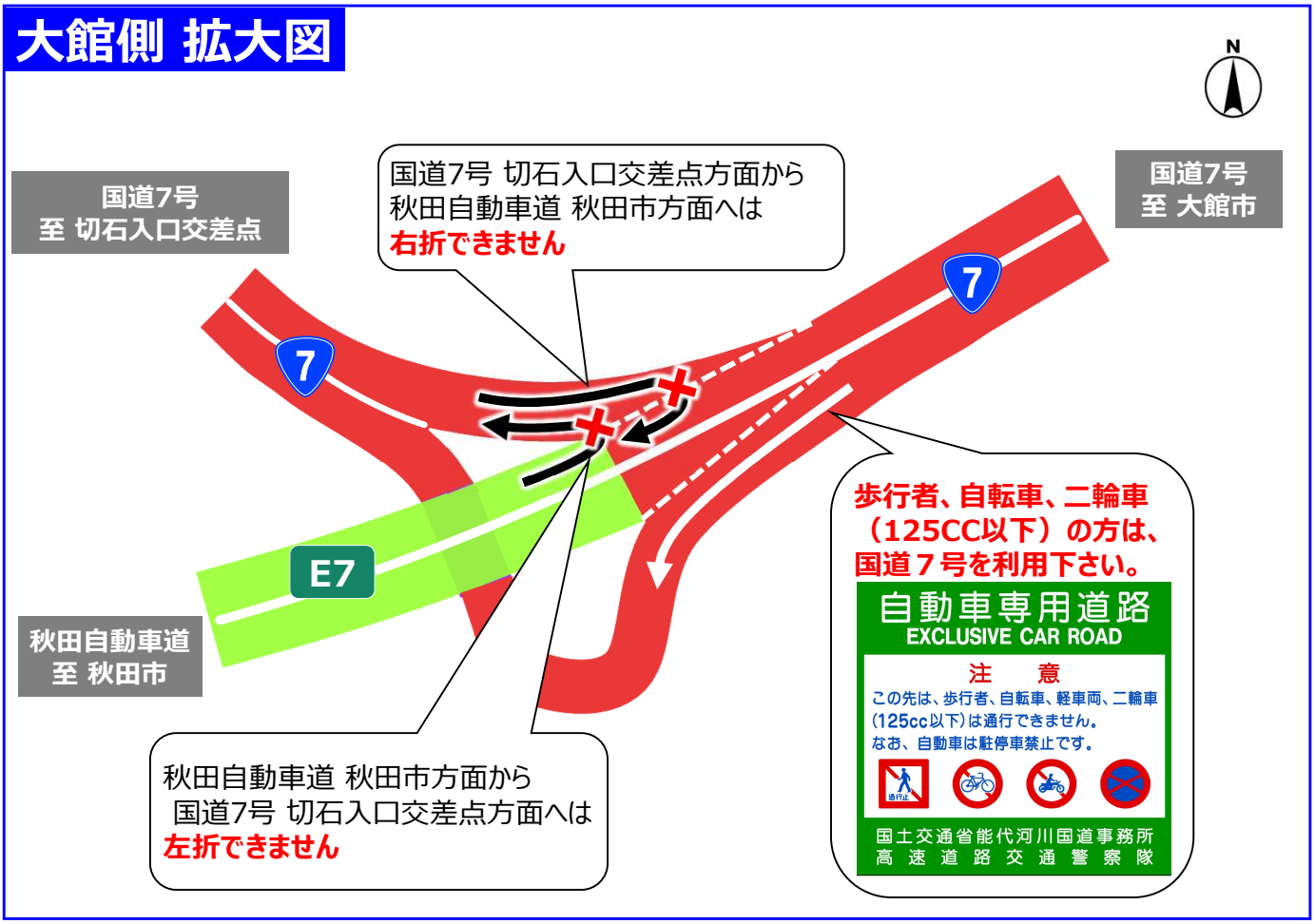




秋田側 拡大図



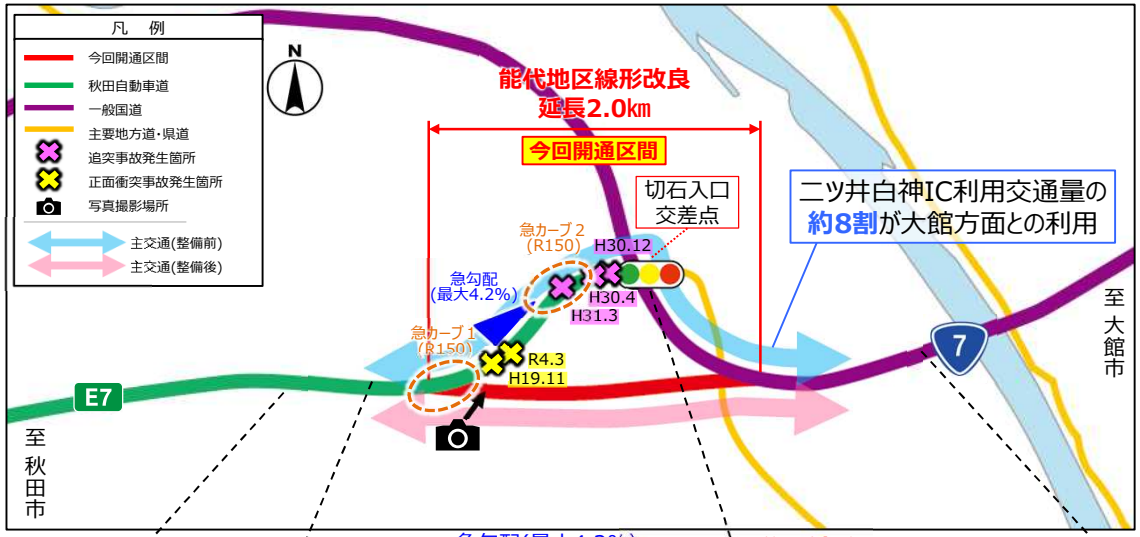
大館側 拡大図

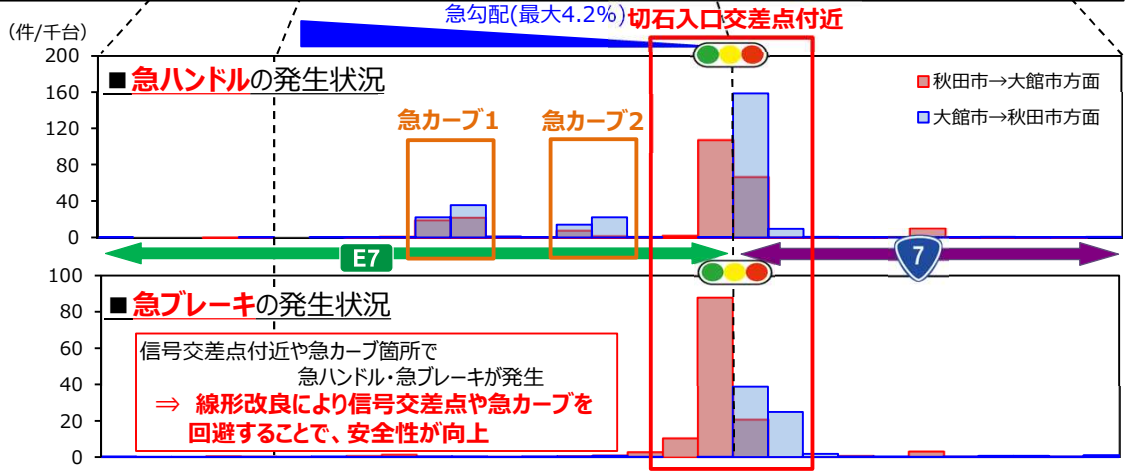


交通の転換による交差点やランプ部の事故削減

・切石入口交差点の死傷事故率は秋田県北地域の国道７号でワースト１位。能代地区線形改良の整備により、主交通である二ツ井白神IC⇔国道７号（大館方面）の交通が転換し、交差点の事故削減に期待。
・二ツ井白神ICのランプ部は急カーブ・急勾配であり、追突事故や正面衝突事故が多数発生。能代地区線形改良の整備により、急カーブや急勾配箇所を回避することで安全性が向上。

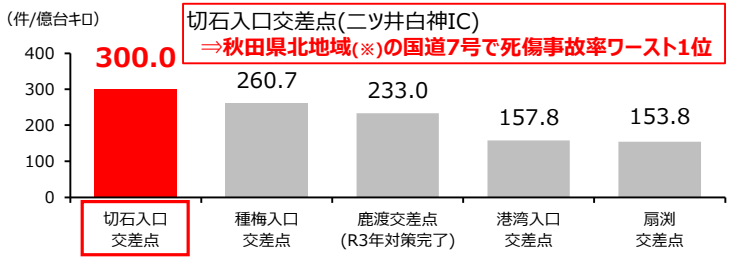
▼事故・急ハンドル・急ブレーキ発生状況





資料　事故発生箇所：イタルダデータ(H19～R5)　※H19.11発生の正面衝突事故はイタルダデータ未登録
IC利用交通量：切石入口交差点の交通実態調査結果（R6.11.12（火）、13（水）平均）
急ハンドル・急ブレーキ：ETC2.0プローブデータ（R6.9-11全日）　※±0.25G以上を対象に100m単位で集計

▼秋田県北地域(※)の国道7号における死傷事故率の比較
（死傷事故率の高い単路・交差点ワースト5位）



資料：イタルダデータ（R2～R5）
※秋田県北地域：能代市、三種町、八峰町、藤里町、大館市、北秋田市、上小阿仁村、鹿角市、小坂町

▼正面衝突事故発生状況（H19.11）

《利用者の声》

救急関係者

- 開通により、急カーブ・急勾配の回避や事故の減少により、安全で安定した救急搬送が可能になります。

観光バス事業者

- 急カーブ・急勾配の通過は乗務員にとって負担を感じ、お客様にとって「乗り心地の良さ」が一番重要です。
今回の開通で乗務員の負担や疲労の軽減につながり、お客様の快適性向上が期待されます。

（R7.9　ヒアリング）